

重要



速度超過や連続空転をするとタイヤが傷ついたり、チェーン切断等の破損が生じることがあります。

雪道は危険です。上記重要事項及び裏面の取扱説明書の内容をよくお読みいただき安全走行をしてください。

装着方法



装着場所の選択

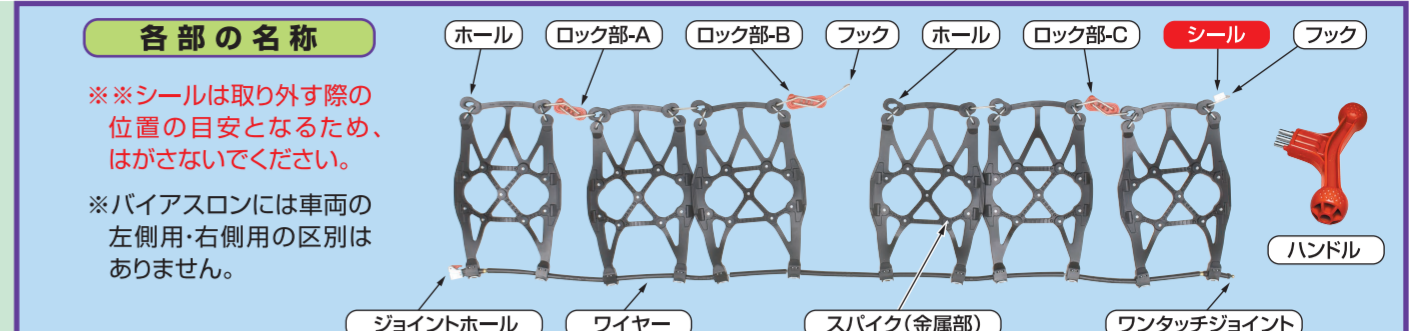
- 積雪・凍結路面を避け、平坦で他の交通から離れた場所に自動車を停めます。特にタイヤの周囲に積雪があると、装着しにくくなります。
- パーキングブレーキをかけ、MT車はシフトレバーをニュートラルに、AT車はセレクトレバーを「P」に入れ、エンジンを停止します。

装着用具の準備

- ハンドル(付属品)を用意します。けがを防ぎ衣類を汚さないために、軍手付き腕カバー(付属品)を着用します。
- ホイールカバーが付いている場合は、マイナスドライバー等を用意して取外してください。ホイールカバー付きのまま本製品を使用するとホイールカバーに傷が付きます。
- タイヤの空気圧が自動車メーカーの指定値と異なっている場合装着しにくくなる場合がありますので空気圧を確認してください。

※このシートは水や雪に濡れても破れません。

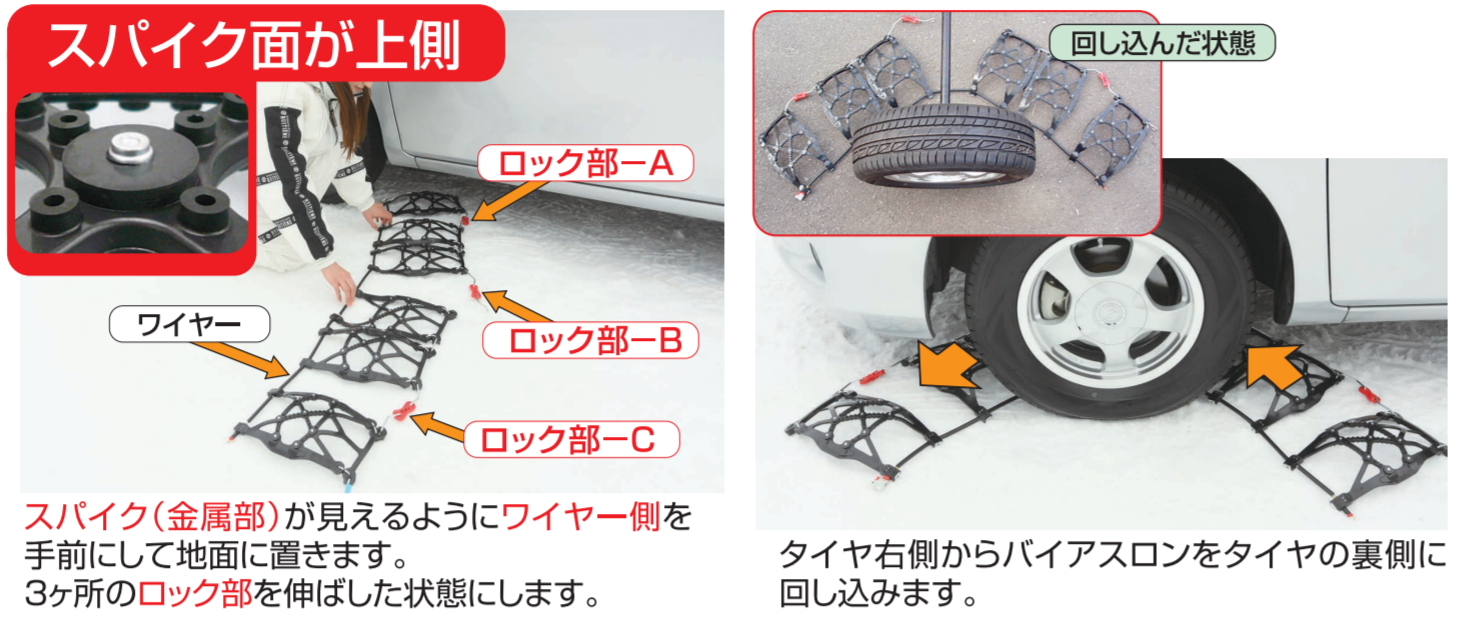
■ご使用前に必ず裏面の取扱説明書をお読みください。
 ■装着輪については、車に備え付けの取扱説明書をご確認ください。
 本書では、前輪駆動車の前輪左側タイヤへの装着例を説明します。左側が終了した後、前輪右側も同様に装着します。(後輪駆動車の後輪タイヤへ装着する場合も同様に行ってください)



装着前の準備

- 【QE1~QE14】**
 ①ロック部-Bのフックをホールから外します。
【QE14LおよびQE15~QE20】
 ①ロック部-Bのフックをホールから外します。
 ②ロック部-Aとロック部-Cのフックをホールに差し込み、連結します。
-

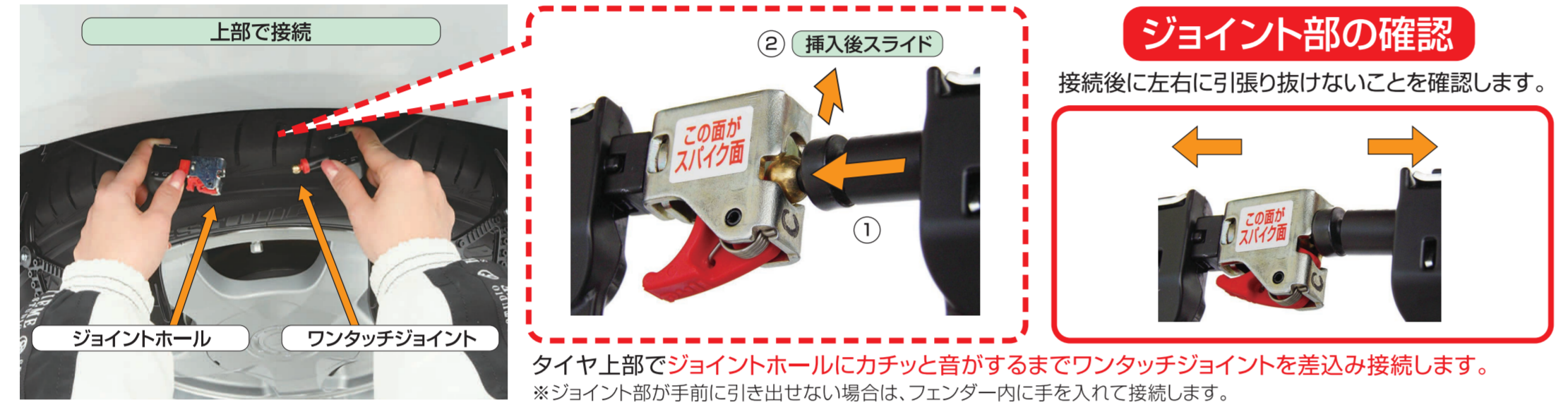
1 バイアスロンの回し込み



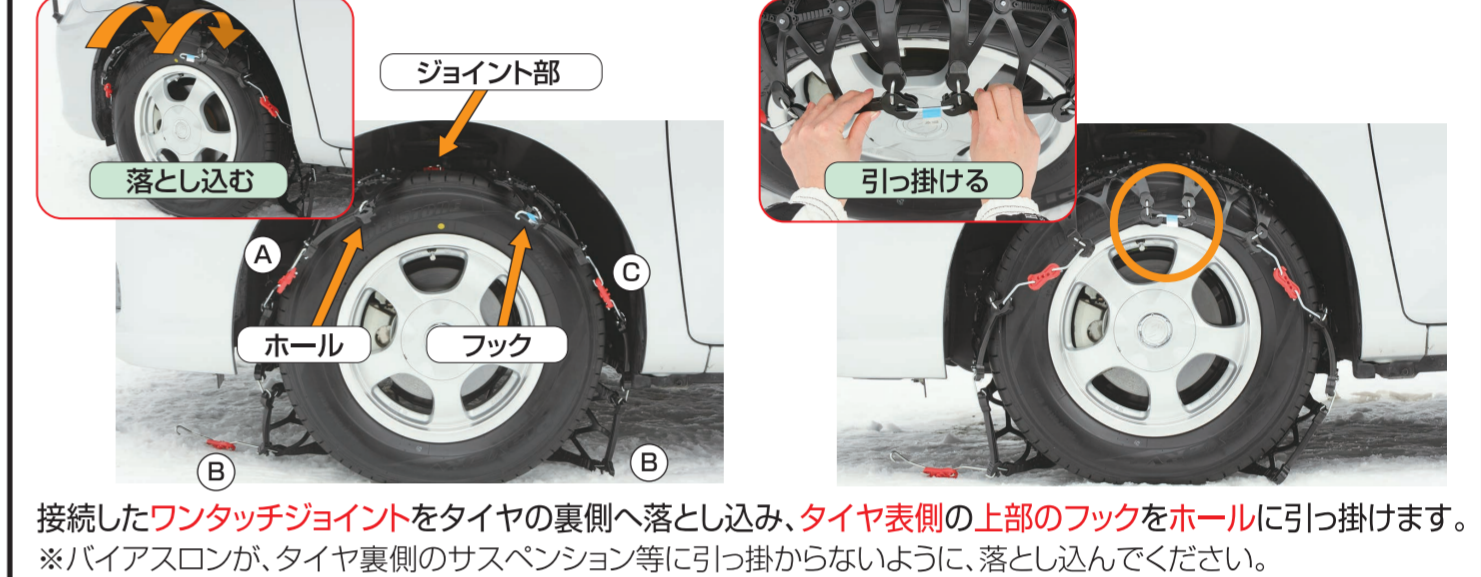
2 スパイクが外側を向くように、タイヤに沿って持ち上げる



3 ジョイント部の接続



4 落とし込み・上側フックの接続



5 下側フックの接続



6 ロック部のロック



7 装着完了・確認・テスト走行



取外し方法

本書では、前輪駆動車の前輪左側タイヤでの取外し例を説明します。左側が終了した後、前輪右側も同様に取外します。(後輪駆動車の後輪タイヤで取外す場合も同様に行ってください)

取外し場所の選択

- 積雪・凍結路面を避け、平坦で他の交通から離れた場所に自動車を停めます。特にタイヤの周囲に積雪があると、取外しにくくなります。
- パーキングブレーキをかけ、MT車はシフトレバーをニュートラルに、AT車はセレクトレバーを「P」に入れ、エンジンを停止します。

取外し用具の準備

- ハンドル(付属品)を用意します。けがを防ぎ衣類を汚さないために、軍手付き腕カバー(付属品)を着用します。
- チェーン本体を外した後、装着時に外したホイールカバーをもと通りに取付けます。

1 シール位置の調整



2 ロック部の解除



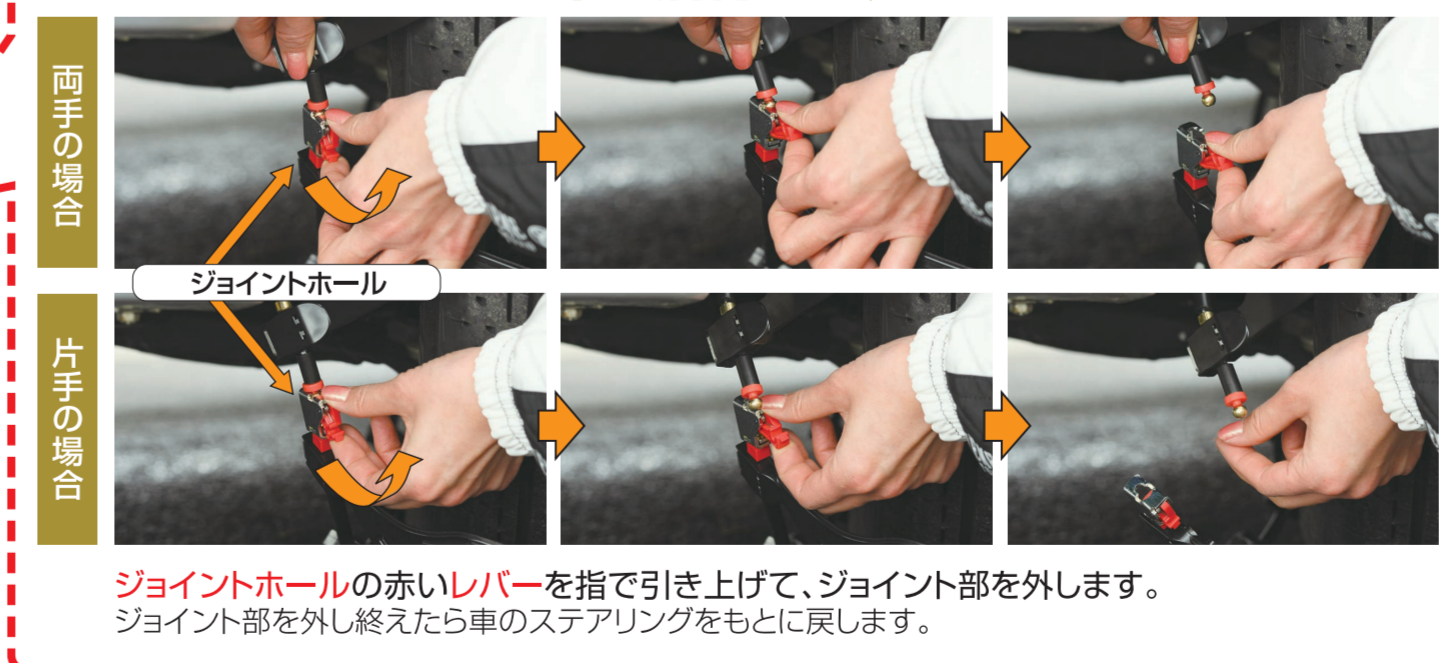
3 フックの取外し・落とし込み



4 ジョイント部の解除



ジョイント部の解除方法



5 取出し



収納方法

- ① QE1~QE14は3ヶ所のロック部をロック状態に、QE14LおよびQE15~QE20はロック部を解除状態にして、スパイク(金属部)が上側に見えるようにして地面に置きます。
 ② スパイク(金属部)が内側になる様に、QE1~QE14は3つ折りに、QE14LおよびQE15~QE20は6つ折りにして、バイアスロンをケースに収納します。

